

2014年（平成26年）12月21日（日曜日）

# 博報賞と大臣賞を報告

「釈迦内SP「今後地域明るく」が県庁へ」

大館市釈迦内小を中心としたヒマワリの栽培や収穫、商品化などに取り組んでいる釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会が19日、県庁を訪れ、第45回博報賞と文部科学大臣奨励賞受賞を報告した。

博報賞は、博報財団が学校や団体などを表彰するもので、児童教育の現場を活性化させ支援することを目的としている。受賞者の中から特に優れた取り組みに文部科学大臣奨励賞を贈っている。

この日、県庁を訪れたのは同実行委員会の日景賢悟委員長と釈迦内小の三浦栄一校長、6年生の日景駿太郎君と小松美羽さんの4人。賞状のほか、商品化したひまわり油や作業工程をまとめた資料などを持参して受賞を報告した。

報告を受けた吉川正一県教育次長は「県内でも6次産業化の取り組みが増えてきているが、釈迦内小は草分けといえる。子どもたちが地域をつくっていく姿は頼もしい」と活動をたたえた。

吉川教育次長に「この後、活動をどうしていきたいですか」と聞かれた

日景君は「地域の人と触れ合えるよう、活動を広めていきたい」、小松さんは「ヒマワリをたくさん植えて釈迦内が明るくなるようにしたい」と目



標を語った。